

臨床研究等の情報公開

研究課題名	小児癒着性中耳炎に対する鼓膜チューブと軟骨板による鼓室形成術
研究機関	青森市民病院
研究内容	<p>小児滲出性中耳炎は将来的に真珠腫性中耳炎へと進行し予後不良となることもある疾患です。鼓膜の接着や軽度の癒着が生じてしまった状態では通常の鼓膜チューブ挿入術のみではチューブが脱落后に再燃することが多いものと考えます。治療を行っても再燃する小児癒着性中耳炎の患者様に鼓膜チューブと軟骨板を用いて鼓室形成術を行いましたので、その経過について検討することを目的とします。</p>
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和8年12月31日
対象者	2024年1月から2025年12月の間に青森市民病院耳鼻いんこう科において鼓膜チューブと軟骨板を用いて鼓室形成術を受けられた癒着性中耳炎の患者様を対象にします。
実施方法	<p>診療情報(カルテ)を拝見させていただき、どのような治療が行われ、どのような経過に至ったかを調査します。</p> <p>患者様の個人が特定されるような情報は利用せず、公開もしません。</p>
参加撤回の自由	<p>この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。研究に参加しないことによって、今後の診療で不利益な対応を受けることはありません。</p> <p>本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者様もしくは患者様の代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。</p> <p>いったん参加に同意した場合でも、いつでも不利益を受けることなく同意を撤回することができます。その場合、調査資料は廃棄され、それ以降は診療情報が研究のために用いられることもありません。</p> <p>ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されていた場合や調査資料が完全に匿名化されて個人が特定できない場合などには、調査資料を廃棄できないこともあります。</p>
問合せ先	青森市民病院 耳鼻いんこう科 佐々木亮 電話：017-734-2171